

南の風

—第5号—

窓の外から聞こえる虫の声が、セミから鈴虫に変わり、秋の訪れを感じさせられます。長い夏休みが明け、元気に学習に取り組む子どもたちの姿が戻ってきました。2学期も感染症対策を取りながらの学校生活となります。工夫を重ねながら日々の学習を積み重ねていけばと思います。

今日は小学部・中学部の各教室に感染制御室の大原様を講師にお招きし、健康教育「感染予防教室」を行いました。感染予防の大切さを、この紙面を通じ大原様から皆様にも伝えて頂きます。

みなさんこんにちは、神奈川県立こども医療センターの感染管理認定看護師の大原です。今回は横浜南支援学校の感染予防教室を担当させていただきました。私は子ども好きで看護師資格の取得後から、こども医療センターで約15年勤務しています。そして「子どもたちのために働き続ける」という入職時の想いは、今も薄れていません。しかし、想いだけでは、来院する子どもたちや家族を細菌やウィルスから守れません。そのため私たち医療者は、色々な感染対策を実施します。感染対策には、誰でも日頃から実践可能な対策もあります。その中でも今回は子どもたちも学んだ手指衛生について、お話をさせていただきます。

まず手指衛生とは、手指消毒や石けんと流水による手洗いにより、手指の微生物数をできる限り減らすことです。手指衛生の歴史を見てみると、150年以上前にハンガリーの医師ゼンメルワイスが、産褥熱による死亡率が高いことに着目し、手指衛生を強く推奨したところ死亡率が減少しました。ここから手指衛生が始まり、日本でも同様に手指衛生を徹底したことでの感染の広がりが終息したという報告が多数あります。普段の生活でも手を使う機会は多く、汚染された手で鼻や口に触れ、汚染された手で食品を口にすることで細菌やウィルスによる感染リスクが高まります。そのため、知っている方も多いと思いますが、もう一度手指衛生の方法を確認してみましょう。

手洗いの方法は図1の通りです。手指は物を握ったり、つまんだりと使用頻度も高いです。しかし、実際は図2のように洗い残しが多いです。(赤、ピンク、黄の順番で洗い残しが多い)そのため手の甲・指先・親指は、忘れずに洗いましょう。次は病院以外でも設置場所が増えた消毒剤を用いた、手指消毒です。図3が手指消毒の方法です。手洗いと同じように見えますが、指先を最初に消毒します。消毒剤はアルコールですから、擦り込み中に揮発しては消毒効果が十分に得られません。そのため指先・手の平・甲・指の間・親指の順にアルコールを擦り込みましょう。コロナは5類に移行しましたが、流行性胃腸炎や手足口病などの感染症に感染するリスクは変わりません。これからも正しい手指衛生を実施し、子どもたちや自分を細菌やウィルスから守っていきましょう。



こども医療センター 感染制御室 大原 祥

小学部・中学部「感染予防教室」

9月12日(木)に小学部1組、17日(火)に小学部2組、25日(水)に中学部に、こども医療センター感染制御室の大原看護師と松野看護師を講師にお招きし、健康教育「感染予防教室」を行いました。

感染とは何か、広がり方や予防の仕方をお話してもらいました。

また、実際に手を洗って、きちんと洗えているかのチェックもしてもらいました。専用のクリームを塗り、手を洗った後にブラックライトを当てると洗い残している場所が光ります。ちゃんと洗えているつもりでも汚れが残っている所が見つかってショックを受けたり、綺麗に洗えていて喜んだり…



様々な反応が見られました。

ひとりひとりにアドバイスをいただき、これからよく手を洗えるように気を付けたいと感想を話す子も多く、とても有意義な時間になりました。

学校でも今回の機会を活かしながら、教育活動と感染予防に取り組んでいきたいと思います。



10月 行事予定

- 8日(火) 午前日課
- 9日(水) 文化祭予行練習
- 10日(木) 健康教育「薬」(小学部1組)
- 11日(金) 文化祭(午前日課、一部4校時)
- 15日(火) センター合同避難訓練(14:00~)
- 22日(火) 健康教育「薬」(小学部2組)
- 23日(水) 小学部6校時授業

- 24日(木) 重心高等部修学旅行
(赤レンガ倉庫方面)
- 25日(金) 重心中学部修学旅行予備日
(赤レンガ倉庫方面)
- 21日(月)~25日(金) 学校生活アンケート
- 30日(水) 中学部健康教育
小学部6校時授業
- 31日(木) 重心小学部修学旅行
(シーパラダイス方面)

今月より、横浜南支援学校のホームページのQRコードも掲載致します。
「南の風」のバックナンバーも「学校生活」のページより確認できます。

